

履修履歴表

送信者情報 1	21714771	送信日付	2022/03/21 22:46
送信者情報 2		卒業年	2021年
大学名	金沢大学 理工学域 機械工学類		
評価方式	4段階 (S、A、B、C)	学校区分	大学
取得済み単位数	152.0		
卒業必要単位数	124		

#	講義名	評価	単位数	#	講義名	評価	単位数
1	確率・統計解析 A	S	1	41	微分方程式及び演習	A	2.0
2	材料力学 I 及び演習	S	2	42	ベクトル解析及び演習	A	2.0
3	流れ学 I 及び演習	S	2.0	43	確率・統計解析 B	A	1
4	材料工学 A	S	1	44	振動工学 I 及び演習	A	2
5	材料工学 B	S	1	45	基礎加工学 A	A	1
6	熱力学 I 及び演習	S	2.0	46	基礎加工学 B	A	1
7	材料力学 II A	S	1	47	制御工学 I A	A	1
8	材料力学 II B	S	1	48	制御工学 I B	A	1
9	計算機概論 A	S	1	49	機械工作実習	A	1
10	計算機概論 B	S	1	50	技術と倫理 A	A	1
11	応用プログラミング技術	S	2.0	51	技術と倫理 B	A	1
12	機械工学設計製図	S	2.0	52	数値解析 A	A	1
13	機械工学実験 I	S	1	53	数値解析 B	A	1
14	機械技術英語	S	2.0	54	流れ学 II A	A	1
15	機械工学実験 II	S	1	55	流れ学 II B	A	1
16	振動工学 II A	S	1	56	機械材料学 II A	A	1
17	振動工学 II B	S	1	57	熱力学 II A	A	1
18	機械材料学 I A	S	1	58	エレクトロニクス B	A	1
19	機械材料学 I B	S	1	59	生産システム工学 B	A	1
20	制御工学 II A	S	1	60	計測工学 A	A	1
21	制御工学 II B	S	1	61	計測工学 B	A	1
22	熱力学 II B	S	1	62	応用数理解析 B	A	1
23	生産システム工学 A	S	1	63	生産工学 B	A	1
24	生産工学 A	S	1	64	航空宇宙工学 A	A	1
25	ロボット工学 A	S	1	65	レーザー工学 B	A	1
26	ロボット工学 B	S	1	66	伝熱工学 B	A	1
27	レーザー工学 A	S	1	67	トライボロジー B	A	1
28	メカトロニクス A	S	1	68	フーリエ解析及び演習	B	2.0
29	メカトロニクス B	S	1	69	複素解析及び演習	B	2.0
30	伝熱工学 A	S	1	70	機械設計学 A	B	1
31	エネルギー変換工学 A	S	1	71	機械設計学 B	B	1
32	エネルギー変換工学 B	S	1	72	応用数理解析 A	B	1
33	マイクロ・ナノメカニクス A	S	1	73	航空宇宙工学 B	B	1
34	マイクロ・ナノメカニクス B	S	1	74	トライボロジー A	B	1
35	機構運動学 A	S	1	75	計算機プログラミング演習	C	1
36	機構運動学 B	S	1	76	機械材料学 II B	C	1
37	機械機能探求	S	2.0	77	エレクトロニクス A	C	1
38	企業開放講義	S	1	78	編入学前の既修得点/共通教育科目	合格	46
39	機械工学輪講	S	1	79	機械工学序論 A	合格	1
40	工業力学	A	2.0	80	機械工学序論 B	合格	1

履修履歷表

送信者情報 1	21714771	送信日付	2022/03/21 22:46
送信者情報 2		卒業年	2021年
大学名	金沢大学 理工学域 機械工学類		
評価方式	4段階 (S、A、B、C)	学校区分	大学
取得済み単位数	152.0		
卒業必要単位数	124		

[illegible]

履修履歷表

送信者情報 1	21714771	送信日付	2022/03/21 22:46
送信者情報 2		卒業年	2023年
大学名	金沢大学 自然科学研究科 機械科学専攻		
評価方式	4段階（S、A、B、C）	学校区分	大学
取得済み単位数	19.0		
卒業必要単位数	31		

[illegible]

履修履歴表(検定・単科履修)

[illegible]

送信者情報 1	21714771	送信日付	2022/03/21 22:46
送信者情報 2			

学校名	金沢大学 理工学域 機械工学類
学校区分	大学
研究室名(教授名)	片峰英二
研究室名(研究分野名)	数理設計工学研究室
論文名	流体構造連成を考慮した流れ場の形状最適化
発表年	2019年
概要	本論文では、流体構造連成を考慮した粘性流れ場の形状最適化に関する数値解析法を示す。粘性流れ場における散逸エネルギーの最小化問題を体積制約条件下で定式化する。形状最適化問題の形状勾配は、随伴変数法、ラグランジュ乗数法、および物質微分の公式を用いて理論的に導出される。形状最適化問題の解法として提案された力法により、形状更新を実施する。形状最適化のための数値解析プログラムをFreeFem++をもとに開発し、2次元数値解析の結果により提案手法の妥当性を確認した。
目次	1. はじめに/ 2. 散逸エネルギー最小化問題/ 2・1 支配方程式/ 2・2 流れ場の散逸エネルギー最小化問題/ 2・3 形状勾配関数と随伴方程式/ 3. 解析例/ 4. まとめ/ 5. 謝辞/ 文献

論文・著書情報 - 2

送信者情報 1	21714771	送信日付	2022/03/21 22:46
送信者情報 2			

学校名	金沢大学 自然科学研究科 機械科学専攻
学校区分	大学院(修士)
研究室名(教授名)	平光立拓
研究室名(研究分野名)	ロボティクスメカトロニクス研究室
論文名	紐で構成される関節の製造手法の開発
発表年	2021年
概要	本論文では、低コストで関節を多様にデザインするために紐で構成される関節に着目した。紐で構成される関節は円筒のリンク表面に紐を複数配置することによって製造される。しかし、紐で構成される関節の画一的な製造手法は紐のハンドリングの難しさがゆえ確立されていない。本論文では、紐のハンドリングを含めた紐関節の製造手法を提案する。ただし、紐の状態をフィードバックせず、ハンドリングする方法について検討する。
目次	1. 緒言/2. 製作した接着装置/3. 紐関節の製造手法/4. 実験方法/5. 実験結果と考察/6. 結言/参考文献